

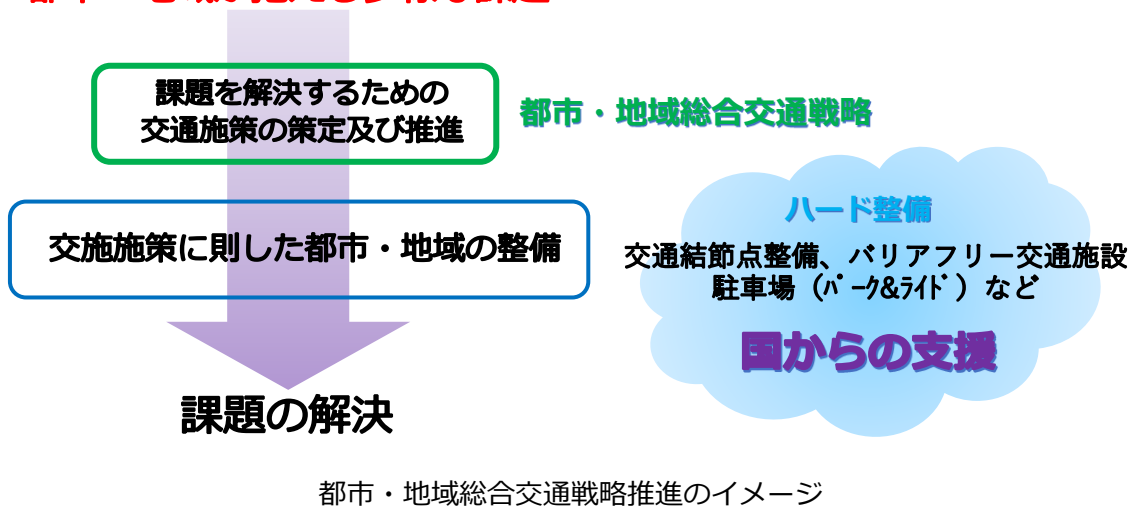
■ 都市・地域総合交通戦略について

1 都市・地域総合交通戦略とは

進展する少子・超高齢化社会への対応、交通渋滞の緩和、交通に起因する環境負荷の低減等のため、過度に自家用車利用に依存することなく、徒歩、自転車、公共交通等の各モードが連携し適切な役割分担のもと、**望ましい都市・地域像の実現を図る観点から**、地方公共団体を中心として、関係機関・団体等が相互に協力し、**都市・地域が抱える多様な課題**に対応すべく、**交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進**を図るものであり、もって**魅力と活力があふれる都市・地域の整備を行うこと**を目的とするものです。

また、都市・地域総合交通戦略を展開する対象区域は、都市レベルあるいは中心市街地等特定の課題のある限定した地域とすることが可能です。

都市・地域が抱える多様な課題



2 交通戦略策定の背景

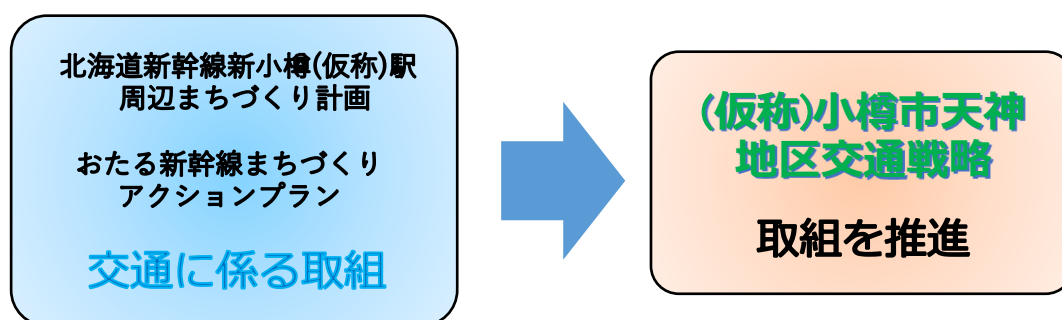
北海道新幹線の札幌延伸によって小樽（天神地区）に新幹線駅が設置されることによって生じる**交通の課題**を、**新小樽（仮称）駅周辺のまちづくりと一体となって解決**していく必要があります。

- | | |
|-----|--|
| 課題① | 新幹線駅が市内中心部から4～5 km離れた市街地の縁辺部に位置することから、既存市街地の拠点と新駅を結ぶ交通ネットワークの形成を早急に図らなければならない。 |
| 課題② | 現状では、新幹線からバス、タクシーなどの2次交通への乗り換えや自家用車によるアクセスの受け皿となる拠点（駅前広場等）がない。 |

3 (仮称)小樽市天神地区交通戦略について

小樽市では、こうした重要性が高く喫緊の課題に対応すべく**新小樽(仮称)駅周辺地区**(まちづくり計画で示される地区約3.5ha)と**市内の拠点を結ぶエリア**に限定した、(仮称)小樽市天神地区交通戦略の策定を進めます。

また、本計画は平成29年3月に策定した「北海道新幹線 新小樽(仮称)駅 周辺まちづくり計画」や令和3年3月に策定した「おたる新幹線まちづくりアクションプラン」の交通に係る取組を総合的に再整理し、着実に推進していきます。



交通施策の推進に交通戦略を活用

4 策定の内容について

- (1) 都市における現状及び課題
- (2) 都市が目指す将来像
- (3) 交通戦略の区域
- (4) 交通戦略の目標
- (5) 目標達成に必要な施策・事業
- (6) 関係者の役割分担を踏まえた実施プログラム
- (7) 推進体制

5 策定の体制

- 【策定主体】 小樽市
【協議会】 北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会 街並み・交通アクセス部会

6 策定の期間

令和7年度からの事業実施に向け 令和4～5年度の2ヶ年で策定(予定)